

平成 28 年度第 3 回学術集会プログラム等検討委員会議事録

開催日時：平成 28 年 1 月 19 日（木） 20:00-21:00

場所：神戸ポートピアホテル 南館 5 階

出席者：徳橋泰明（担当理事、第 45 回日本脊椎脊髄病学会学術集会事務局）、田口敏彦、紺野慎一、大川 淳、川上 守、中村博亮、本郷道生（秋田大学、第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会事務局）、寺井 秀富（大阪市立大学、第 47 回日本脊椎脊髄病学会学術集会事務局）、江幡重人（山梨大学、第 48 回日本脊椎脊髄病学会学術集会事務局）

欠席：島田洋一（委員長）山崎正志、波呂浩孝

審議事項

1. 第 46 回学術集会プログラム最終案 演題採否案について、島田 洋一委員長の代理で本郷道生が下記を報告した。

口演会場は、第 1・8 会場を用い、指定演題特別講演 2 題、特別企画 1 題、パネルディスカッション、シンポジウム 4 つ、ディベート 3 つ、ビデオセッション、教育研修講演 11 など決定済みである。

一般演題応募は 1575 題で、規定により 1102 題（69.97%）を採択した。

主題 78 題、13 セッション、一般口演 503 題、83 セッション、ポスター 497 題、86 セッション、English presentation award (EPA) 24 題（国際委員会で決定）となり、不採択は 473 題であった。評議員による各演題 3 名の採点の平均点に基づき、一般口演は 3.33 点以上、ポスターは主として 3.0 点以上を基準とし、一部 2.67 点も採用した。類似演題が認められた場合は、会長の判断で採否を判定した。

2. 第 46 回学術集会準備段階での問題点（委員長代理 本郷道生）

外国人参加者の居場所がなくならないよう、特別講演時を除き、全ての時間帯で英語による講演・セッションがある会場設定とした。

非会員の応募状況とその対応について（徳橋理事より質問あり）：現時点では採択予定演者のうち 約 70 名が非会員で入会手続き中であるが、非会員者への具体的な対応について、運営事務局に確認することにした（補足参照）。補足・非会員者への対応について：採択演題が決定後、学会事務局が会員非会員をチェックし、非会員へ運営事務局から会員になるようにメールで連絡する。手続きが進まなければ、CC に所属の上長（教授等）を入れてメールで催促する。それでも会員になる意思を示さなければ、会長の意向で演題取り消しも可能だが、これまでは会期当日学会事務局受付で登録して対応していた。これらの対応により発表前までに発表者全員が会員となる見込みである。

企業協賛：共催セミナー：28 枠、機械展示では 128 小間の申し込みがあり、予定の枠をほぼ確保できた。* 共催セミナーの問題点として、弁当不足が生じないよう、学会準備の

弁当以外に、企業発注ができるようにした。

3．次回委員会開催日程

第46回大会・札幌の会場で、会期後半で、理事会の後に行う予定とした。

4．その他

抄録集の販売は第44回、45回同様に行わないこととした。

報告事項

1．第47回学術集会準備状況（中村博亮委員，事務局：寺井秀富）

現在予算案策定中であり，予算案が提示された。

2．第48回学術集会準備状況（事務局：江幡重人）

ポスターの図案が完成した。企業共催について打診中である。

以上 本郷道生 記